

[大佛次郎記念館]
 平成 29 年度業務計画及び収支予算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	大佛次郎記念館
所在地	横浜市中区山手町 113 番地 港の見える丘公園内
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階 地下 2 階建
敷地・延床面積	建築面積 593.13㎡ 延床面積 1,166.30㎡
開館日	昭和53年5月1日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで 5 年間

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

日本を代表する知識人であり作家である大佛次郎の記念館として、資料の適切な収集、保管、公開、活用を通じ作家と作品を後世に伝えます。またこのような個人文学館としての使命を維持しつつ、

①近隣の学校や文化観光局、中区役所、教育委員会、図書館などと連携し、広く市民の読書活動や文芸の発展に寄与すること

②地域連携や市民協働により、記念館及び記念館で行われるあらゆる活動を支えていただける関係を地域や市民との間に構築すること

③観光地であるという立地の特徴を踏まえ、大佛の愛した「猫」関連の企画や、スタンプラリー等コンテンツツーリズムの推進、建物の特長を活かした撮影誘致等、様々な参加者、利用者呼び込み、地域のにぎわいと活気を創出すること

④オープンデータやデジタルアーカイブに関する潮流を捉え、ICTを活用した情報の集積・提供サービスの向上に資する事業や取組みを実施すること

等を通じ、専門家、市民、観光来訪者等さまざまな方々が利用し、集い、学び、楽しむことができる「新しい文学館像」を模索、実現します。

(2) 29年度の業務の方針及び達成目標

- ・28年度の指定管理者制度導入以降初年度における計画及び執行について、横浜市文化観光局とも十分な振り返りを行い、反省すべき点があれば、29年度において改善を図り、トータル5年での目標達成、さらにはそれ以降のあるべき記念館像を見据えて、軌道修正を図ります。
- ・大佛次郎の人物、作品の魅力を後世に伝えるというミッションと、「新しい文学館像」を実現していくため、指定管理提案に則った事業を実施し、特に平成29年度は、大佛次郎生誕120周年、中区制90周年といった記念年にあたるため、周年事業にふさわしい様々な事業を実施していきます。
- ・28年度で築いた、横浜市文化観光局との強固なパートナーシップや、大佛次郎研究会、各出版社、ティールーム「霧笛」、山手西洋館、公園管理事務所、元町SS会、ホテル等の観光施設、近隣学校等、各関係先との「顔の見える関係」を引き続き継承していきます。
- ・職員の説明力を鍛え、各業務における成果や公益的意義について説明責任を果たします。
- ・コンプライアンスと収支管理を徹底し、安定した経営を実現します。

4 業務の取組と達成指標

(1) 文化事業について

ア 作品、旧蔵資料及び関連資料の収集、保存及び展示公開

[取組内容]	[達成指標]
<p>①資料収集</p> <p>大佛次郎関連資料の寄贈を随時受け付けるとともに、情報収集に努め、適切な収集を行います。</p>	<p>■新収資料については、市民の財産として積極的に情報発信し、公開します。</p> <p>目標：おさらぎ選書「資料収集」欄への掲載</p>
<p>②資料保存</p> <p>所蔵資料を後世に継承するため、資料の劣化を防ぎ良好な状態を保ちます。</p> <p>専門的な観点から収蔵資料の整理を行い、収蔵品展等に活用します。</p>	<p>■貴重な資料の管理や保護に注力し、自筆原稿等特に貴重な資料の管理に細心の注意を払います。</p> <p>■温湿度管理の徹底と中性紙箱に収める等の方法で資料の保全を行います。</p>
<p>③展示公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展（収蔵品展） ・愛蔵品展示コーナー ・1階ロビー展示 	<p><input type="checkbox"/>「大佛次郎の生涯と作品」にスポットを当てた収蔵品展を展示室で実施します。</p> <p>目標：定期的な展示替え実施</p> <p><input type="checkbox"/>大佛次郎の交友関係に焦点をあて、関係する旧蔵資料等を</p>

<p>④展示以外の資料公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧室での図書閲覧 ・「おさらぎ選書」に目録を掲載。 ・収蔵資料目録のデータベース化を進め、ホームページ上で公表します。 ・研究目的に沿った的確なレファレンスサービスを提供します。 	<p>愛蔵品展として記念室前展示コーナーで展示します。</p> <p>目標：年1回の展示替えの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■データカテゴリーを追加します。 □ホームページ上で新規に公表するデータ数：700件以上 □レファレンスサービス件数：年間40回以上
--	--

イ 作品及び大佛次郎に関する調査研究及び情報の集積

<p>[取組内容]</p> <p>大佛次郎の作品等に関する調査研究成果を展示、出版、講座・講演等により、社会へ還元します。</p> <p>① テーマ展示</p> <p>●大佛次郎生誕 120 年記念 テーマ展示 I 「大佛次郎のヨコハマ・スピリット」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大佛次郎のライフスタイル（音楽・舞台芸術・絵画・写真への愛好、グルメ等）に焦点を当てることで、その生活美学や人物としての魅力を紹介します。 ・作品の舞台、また自らの生活の場でもあった「ヨコハマ」との関係性を紹介し、大佛が「ハマ」に寄せる愛情の具体像にせまります。 ・ターゲット 大佛作品を読んだことのない世代、1930 年代昭和モダン・カルチャーの愛好家 ・期間 3月16日（木）～7月9日（日） 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □テーマ展示の実施：3回 □観覧者目標 15,980人 (H25 実績 13,590人、H26 実績 14,732人、H27 実績 14,904人) □観覧者目標数：5,400人 ■大佛次郎生誕 120 年記念講演会の実施：6月18日（日）、講師：鹿島茂（フランス文学） ■中区制 90 周年、ホテルニューグランド 90 周年との連携 ■フランス月間とリンク
--	--

●大佛次郎生誕 120 年記念

テーマ展示Ⅱ

「大佛次郎と 501 匹の猫」

- ・生涯 500 匹以上の猫を飼うなど、大佛次郎の作品や人生を語る上で欠かせない猫=「優しい伴侶」に焦点をあてます。
- ・ターゲット
夏休みのファミリー来館者、観光客、猫好き等
- ・期間
7月13日(木)～11月12日(日)

●大佛次郎生誕 120 年記念

テーマ展示Ⅲ

「大佛次郎の戦後日本（仮）」

- ・主筆をつとめた若者にむけた雑誌「学生」「天馬」を軸に、人々との交流や大佛の活動を紹介します。(ex. 東久邇内閣の内閣参与～ナショナルトラスト運動、「フランス山」や宅地開発についての横浜市への提言まで)
- ・ターゲット
日本文学愛好者、歴史好き他
- ・期間
11月16日(木)～平成30年3月11日(日)

②おさらぎ選書の発行

- 「おさらぎ選書」第25集を発行します。また、30年度の第26集発行に向け、編集、執筆及び執筆依頼を行います。

③情報の集積と発信

一般紙誌の掲載につながる話題を積極的にリリースするととも

□観覧者目標数：5,400人

- 「猫」を通じ幅広い層への認知度アップをはかる。大佛の猫にむける「まなざし」を通して「大佛らしさ」を体感してもらう。
- 大佛次郎生誕 120 年記念講演会の実施：10月9日(月・祝)、講師：辻原登(作家、神奈川近代文学館館長)
- 大佛次郎 120 歳誕生日の実施
無料入館デーとし、来館者の皆さんで誕生日をお祝いする。
- 中区制 90 周年との連携
- 小学館発行の「大佛次郎と猫」を展覧会で活用する。

□観覧目標数：5,180人

- 「おさらぎ選書」第25集の資料紹介と連動した展示内容とする

- 「おさらぎ選書」第25集では、「大佛次郎生誕 120 年」と題し、論文「大佛次郎主筆『学生』を読む（仮）」「大佛次郎と神奈川新聞社」、及び『学生』の書誌情報等を掲載します。
発行予定年月：平成29年6～9月中

- 新収蔵、初公開等の情報を発信します。
- SNSを使った積極的な発信を行います。

<p>に、公式サイトの実装や、ブログや SNS を用いたタイムリーな発信を行います。</p> <p>公園内の話題（花の話題等）や山手西洋館の行事にも積極的に言及します。</p>	<p><input type="checkbox"/> ツイッター、フェイスブックでの発信：各月 5 回</p> <p><input type="checkbox"/> ブログ更新回数：月 5 回</p>
--	--

ウ 各種文化的行事の実施

[取組内容]	[達成指標]
<p>① 各種文化的行事の実施</p> <p>各種文化的行事を実施し、大佛次郎及び作品の普及啓発を行います。</p> <p>●大佛次郎生誕 120 年記念 「大佛次郎生誕 120 年記念講演会」の実施（2 回）</p> <p>●大佛次郎生誕 120 年記念 「横浜文学散歩」～中区編～ ・5 月 26 日（金）開催予定</p> <p>●大佛次郎生誕 120 年記念 「大佛次郎賞受賞記念講演会」 （今年度は特別に 2 回開催）</p> <p>○大佛次郎研究会公開発表会</p>	<p><input type="checkbox"/> 入場者目標数各回：170 人</p> <p>■6 月 18 日（日）、講師：鹿島茂（フランス文学）</p> <p>■10 月 9 日（月・祝）、講師：辻原登（作家、神奈川近代文学館館長）</p> <p>■神奈川近代文学館と共催実施</p> <p>■中区制 90 周年連携事業</p> <p>■フランス月間とリンク（6 月）</p> <p><input type="checkbox"/> 横浜文学散歩を年 1 回開催します。大佛次郎生誕 120 年記念で、生誕の地をはじめ、中区を重点的に回遊します。 目標：参加者 20 人</p> <p>■中区制 90 周年連携事業</p> <p>■朝日新聞社との共同主催。毎年 1 回の開催だが、昨年度分は日程調整の都合上、平成 29 年 4 月 13 日（木）に開催、また平成 29 年度分は平成 30 年 3 月に開催する予定。</p> <p><input type="checkbox"/> 参加者各回 240 人</p> <p>■4 月 13 日（木）講師：浅田次郎（受賞作『帰郷』）</p> <p>■4 月開催分のみ中区役所との共催となり、中区制 90 周年事業の位置づけとなります。</p> <p>■横浜市開港記念会館講堂での開催</p>
<p>○大佛次郎研究会公開発表会</p>	<p>■大佛次郎研究会に対し、会議室の利用、選書への論文掲載等の便宜を図るとともに、年 2 回開催される研究会公開発表会を共催し、活動を支援します。</p>

②施設及び山手エリアの活性化

●和室公開

春の桜、晩秋の紅葉の時期に和室を公開し、来館者に窓から眺める景色を楽しんでいただくと同時に、大佛の作った俳句等を展示し、啓発に努めます。

- ・春 平成29年3月24日(金) - 4月9日(日)
(15日間)
- ・秋 11月下旬-12月上旬 (予定)
(15日間)

○大佛茶亭公開

鎌倉風致保存会主催の鎌倉市雪ノ下にある「大佛茶亭」の公開に合わせて、書籍、グッズ販売等を行います。

- ・春 4月8日(土)
- ・秋 10月14日(土)

③子ども対象事業を実施します。

●小学生ミニ・ビブリオバトル

本好きだった大佛次郎のスピリットを伝えるとともに、読書全般に対する振興事業として、昨年度に引き続き第5回ミニ・ビブリオバトルを実施します。

○夏休み子どもアドベンチャー

市教委主催の夏休み子どもアドベンチャーに参加し、子どもたち及び保護者の入館を促進します。(ねこをみつけよう、よみきかせ、ねこを書こう)

●感想画展、館内クイズラリーなど、小中学生無料化に伴い、親子での来館を促す企画を実施します。

□目標来場者数 春・秋各 400人

■会場で書籍、グッズ販売を実施、施設の紹介も行います。

■テーマ展示毎に茶亭の展示コーナーを展示替えします。

■中区との連携事業として年1回開催市と要協議。

■8月17日(木)、18(金)

□参加者目標：40人(保護者含む)

■年1回実施
夏休み実施予定

<p>○神奈川県博物館協会主催のミュージアム・ミッション2017に参加し、来館者増を図ります。</p> <p>④観光客や新規来館者を呼びこむ企画</p> <p>○「大佛次郎×ねこ写真展2018」企画の実施 2月開催予定 大佛次郎の愛した猫を切り口に、新たな来館者層を開拓します。</p>	<p>□参加者目標：300人</p> <p>■昨年度に続いて2回目の実施。会議室での展示事業として年1回実施</p> <p>□入館者目標：3,000名</p>
---	---

エ 施設の有効活用及び文化団体等への活動の場の提供

<p>[取組内容]</p> <p>①記念館の雰囲気や建物の魅力を生かした利用の誘致を行います。</p> <p>●学校茶道部の利用促進を行います。</p> <p>●大佛次郎生誕120年記念「大佛次郎記念館のオープンデー」 教育機関など地域と連携し、オープンウエークを実施します。9月2日(土)入場料無料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和英二か国語でのギャラリートーク(展示・建物・活動紹介) ・和室での市内中学高等学校茶道部生徒さんによる茶道体験 ・「着物バスルドレス」(鹿鳴館風ドレス)の展示(2階サロン) ・ティールーム「霧笛」による大佛夫人のレシピを用いたチーズケーキの提供、等 <p>②会議室、和室の利用促進 建物の魅力を活かした撮影利用や、展示利用等を誘致します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■キャンペーンによる誘致を実施します。</p> <p>□キャンペーン利用件数：年2件</p> <p>■オープンデーの実施によって、地域連携、バイリンガル化を進めます。</p> <p>■多文化共生の拠点としての可能性の探究</p> <p>■中区制90周年連携事業</p> <p>□ドレス撮影会等、商業撮影の誘致：年5回以上</p> <p>■ウェディング撮影を近隣のホテルや結婚式場と連携して誘</p>
---	--

<p>③リピート利用に向けた方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和室、会議室での附帯設備導入等による利便性向上 ・会議室の利用者の意見を聞き設備面・サービス内容等を改善。 ・ホームページでの情報提供。 <p>④ティールーム「霧笛」との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互割引の継続実施及び団体利用客への霧笛紹介。 ・記念館活性化プロジェクトで開発されたメニューの継続販売。 	<p>致を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■撮影等、特徴ある利用実績を記録し、アピールに使います。 ■主催または共催で、会議室の連続利用につながる展示事業を開催します。 ■附帯設備の充実を検討します。 ■改善を実施し、実績をHPやSNSを通じ発信します。 ■昨年度HPに開設した「和室・会議室空き状況」ページを円滑に運営します。 ■チケット半券ーレシートの提示による相互割引を継続します。また団体客や貸館利用者へティールームの利用を呼びかけます。
---	---

オ 市民協働及び地域とのネットワーク構築

<p>[取組内容]</p> <p>① 近隣教育機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大佛次郎生誕 120 年記念 「大佛次郎記念館のオープンデー」(再掲) <p>②近隣施設等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ●横浜山手芸術祭への参加 横浜山手西洋館ユースギャラリーの会場として、親子の来館を促進します。 ・内容 市立北方小学校児童作品を会議室に展示 ・期間 平成 29 年 2 月 (約 10 日間) 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■近隣小学校等とは、チラシ配布、ポスター掲示等で日常的な協力関係を築くとともに、小学生ミニ・ビブリオバトル等の子ども対象事業を行う場合には、挨拶まわりを行い、参加を呼びかけます。 ■横浜山手西洋館ユースギャラリーの実施：年 1 回
---	--

<p>●山手西洋館（横浜市緑の協会）との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山手西洋館ハロウィンウォーク ・山手通信への情報掲載 <p>●県立神奈川近代文学館との連携</p> <p>③近隣商店街等との連携</p> <p>元町商店街（元町 SS 会）、横浜高速鉄道（株）、ホテルニューグランド等と連携します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンパドウルに、大佛次郎記念館活性化プロジェクトから生まれた冬季限定パン「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売継続を働きかけます。 ・ホテルニューグランドの大佛次郎ゆかりの「天狗の間」宿泊プランの継続を働きかけます。 <p>④研究者団体等の文化活動への場の提供</p> <p>⑤財団他施設との連携</p> <p>施設間連携として、横浜美術館等での販売、広報、企画連携を検討します。</p> <p>⑥市民協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ●NPO 法人横浜シティガイド協会との連携 ●記念館ボランティア 展示作業、イベント開催のお手 	<ul style="list-style-type: none"> ■ハロウィンウォークは、大佛次郎記念館に日頃馴染みのない層への周知機会ととらえて参加します。 ■大佛次郎生誕 120 年を記念して、関連展示を近代文学館内にも実施していただけるよう働きかけます。また、当館と共催で、120 年記念講演会を年に 2 回開催します。このほか、観覧者の相互割引を継続します。 ■近隣商店街等とのつながりを大切にし、関係性を深めます。 ■ポスターの掲示を依頼し、当館においてもポスター掲示もしくは無料配布物等へのクーポンの提供等で協力関係を維持します。 ■大佛次郎研究会及びフランス経済史研究会との施設及び資料利用に関する協定の見直しを検討します。 ■横浜美術館カフェ小倉山において、大佛次郎生誕 120 周年の記念連携展示として、「大佛次郎のモダンライフ」と題するパネル展示を行い、商品販売等の連携を目指します。 平成 29 年 3 月 25 日（土）～6 月 25 日（日）予定 ■岩間市民プラザにおいて、大佛次郎生誕 120 周年の記念連携公演として、大佛次郎作品の朗読公演を取り上げます。 平成 29 年 5 月 27 日（土） ■昨年度協議に基づき、ガイドに対するレクチャーを開催。記念館へのツアーを促進します。 ■ボランティアメンバーの拡充をはかります。
--	---

伝いをいただきます	
-----------	--

カ 広報・プロモーション活動等の推進

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●従来からの広報よこはま、地域のタウン誌、新聞紙面等による広報活動を継続します。またSNS等を活用したプロモーション活動を行います。 ●大佛次郎及び記念館紹介ビデオの放映 ●ホームページの更新をタイムリーに行います。 ●アプリの開発の検討 ●CATV での情報発信 CATV 局やその他 TV 局と連携して、企画展等の情報を発信します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■3 か月スケジュールの発行：年 4 回 開館 40 周年（平成 30 年度）年間スケジュールの発行：年度末 ■昨年度に作成した紹介ビデオを、エントランスにおいて放映し、入館者増につなげます。 ■昨年度開設した和室、会議室の利用状況・空き状況を円滑に運営。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>ホームページ情報更新 月 3 回以上 <input type="checkbox"/>ブログ情報更新 月 5 回以上 <input type="checkbox"/>ツイッター更新 週 1 回以上 <input type="checkbox"/>大佛次郎記念館アプリ開発について情報収集 <input type="checkbox"/>CATV 等 TV 局からの情報発信：年 3 回以上
--	--

キ 後世に継承するための記念館の活性化

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大佛次郎作品の刊行協力等、大佛作品を読める環境整備 ○大佛次郎記念館監修「500 匹と暮らした文豪 大佛次郎と猫」販売協力 ●その他 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小学館刊行の「500 匹と暮らした文豪 大佛次郎と猫」販売協力を行い、普及に努めます。この本は、生誕 120 年テーマ展示Ⅱの図録として活用をはかり、販売にも繋がります。 ■単行本未収録の作品の刊行や絶版本の復刊を出版社に働きかけます。また所蔵資料を活用した出版も併せて働きかけます ■電子本配信の検討を行います。
---	--

<p>②フランス関連資料の活用</p> <p>③若者の来館促進（スタンプラリー協力等）</p> <p>○スタンプラリー等参加</p> <p>○街コン開催</p> <p>④「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」成果継承 活性化プロジェクトアイデアを活用して、記念館の魅力アップを図ります。</p> <p>⑤子どもたちが記念館に集う取組</p> <p>⑥大佛次郎生誕 120 年記念 「大佛次郎 120 歳誕生日」</p> <p>⑥スタッフの展示案内によるリピーターの確保</p> <p>⑦愛猫家の側面に着目した、猫を活かした企画展開</p> <p>⑧収入増及び健全な財務体質の実現に向け、個別事業評価システムによる自己評価、文学懇話会（会員構成：メディア・有識者</p>	<p>■テーマ展示Ⅰ～Ⅲで展示活用します。 ※個別事業の概要と目標については前掲の通り</p> <p>■キャンペーンイベント等のスタンプラリー拠点に参加し、若い世代の来館を促します。 （28 年度実施例：文豪ストレイドッグス、ミュージアムクイズラリー）</p> <p>■街コンジャパン主催、財団協力の「横浜アートで街コン」に協力し、若い世代の来館を促します。 目標：年 1 回以上</p> <p>■昨年度作成したワークシート「ねこからの挑戦状」を積極的に活用し、参加者を増やします。</p> <p>■昨年度から実施された、小中学生入館料無料化と、親子の来館を促進する企画により入館者増を図ります。 ※個別事業の概要と目標については前掲の通り</p> <p>□入館者目標数：100 人</p> <p>■無料入館デーとし、来館者の皆さんで誕生日をお祝いします。 開催予定日：10 月 9 日</p> <p>■中区制 90 周年連携事業</p> <p>□団体入館者に対する解説：年 40 回以上</p> <p>■「大佛次郎×ねこ写真展 2018」の実施、及び恒例化</p>
---	---

<p>●アンケート等による利用者ニーズの把握</p> <p>●案内・説明表示の外国語表記対応</p> <p>●展示解説や団体向け解説を実施します。(再掲)</p> <p>●施設の魅力を向上させるため、調度品類を修繕・更新します。</p> <p>●ショップ事業 大佛次郎記念館オリジナルグッズを展開し、団体客等に積極的に販促します。 図書の販売を継続します。</p>	<p>■来場者に対するアンケートを実施します。月毎の集計を行い、館内スタッフに迅速なフィードバックを行います。</p> <p>■改善事例については、HP、SNS等で情報発信します。</p> <p>■案内パンフレットの英語版作成：外国からの入館者に積極的に配布します</p> <p>■1階ロビー展示部分の英語併記</p> <p>□団体入館者に対する解説 年40回以上(再掲)</p> <p>■解説時に、対話によりお客様のニーズを把握します。</p> <p>■随時実施</p> <p>□新規グッズ開発：1アイテム以上</p> <p>■小学館より刊行の「大佛次郎と猫」の販売メリットを享受するため積極的に宣伝します。</p> <p>■大佛次郎の個人文学館として、現在では一般の書店で手に入りにくい図書類を販売します。</p>
--	---

ウ 組織的な施設運営

<p>[取組内容]</p> <p>①適切な運営組織体制と人材の配置 最少人数での最大効果を求め、情報の共有化、迅速な意思確認を徹底します。</p> <p>②文学館の専門性、公共の施設として適切な人員を配置。職員</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① □人材の配置について</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 20%;">人数</th> <th style="width: 50%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>3人</td> <td>事務室1、研究室2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>事務室1、研究室1</td> </tr> <tr> <td>業務委託</td> <td>2人</td> <td>月4回以上</td> </tr> <tr> <td>カルチャースタッフ</td> <td>4人</td> <td>受け付け窓口</td> </tr> </tbody> </table> <p>□館内会議の実施 研究室会議：月1回 合同会議：月1回 企画会議：月1回</p> <p>■業務として必要な専門知識向上や資格取得のため、費用対効果も見極めながら、積極的な受講・取得を推進します。 例) 文化財 IPM コーディネータ 等</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	0人		職員	3人	事務室1、研究室2	アルバイト	2人	事務室1、研究室1	業務委託	2人	月4回以上	カルチャースタッフ	4人	受け付け窓口
項目	人数	備考																				
館長	1人																					
副館長	0人																					
職員	3人	事務室1、研究室2																				
アルバイト	2人	事務室1、研究室1																				
業務委託	2人	月4回以上																				
カルチャースタッフ	4人	受け付け窓口																				

<p>能力向上のため、研修を実施。</p> <p>・事務室、研究室共通</p> <p>業務に必要な資格取得に向けたバックアップを行います。</p>	<p>■研究室は展覧会の企画立案、資料等の研究・整理等の能力を有する職員を配置します。</p> <p>■全国文学館協議会会議に参加し、文学館同士の情報共有・連携強化を行います。</p>
---	--

エ 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組

<p>[取組内容]</p> <p>●個人情報保護・情報公開、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■個人情報漏洩などに関する事故：0件</p> <p>■業務計画書、報告書のHPでの公開：実施</p> <p>PDFのダウンロードを可能とします。</p> <p>□市内中小企業への発注：全契約の9割以上（件数、金額）</p>
--	--

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理、公園管理

<p>[取組内容]</p> <p>●施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化の実施</p> <p>●保守点検、備品管理、環境維持の実施</p> <p>●公園の管理区域内の維持、公園管理者との連携調整</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□施設運営に支障がでないように管理します。</p> <p>□館建設から38年経過し、建物、設備に劣化が進んでいるので、必要な修繕を実施するように調整します。</p> <p>□必要に応じ市と協議を行います。</p> <p>□不具合早期発見のため自主点検を実施します。 月1回</p> <p>□自主点検した内容を財団事務局と情報を共有します。</p>
---	--

イ 小破修繕の着実な実行

<p>[取組内容]</p> <p>●小破修繕の取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■随時実施</p> <p>□不具合早期発見のため自主点検を実施します。</p> <p>月1回(再掲)</p> <p>■修繕等の実施に際しては横浜市と情報共有するとともに、実績をHP、SNS等を通じ積極的に情報発信します。</p>
-------------------------------	---

ウ 事故予防及び緊急時の対応

<p>[取組内容]</p> <p>●事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症等衛生管理の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□施設運営に支障がでないように管理します。</p> <p>□館内巡回 1日2回</p>
--	--

エ 防災に対する取組

<p>[取組内容]</p> <p>● 日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ 防災訓練 年 2 回</p>
---	-----------------------------------

5 収支について

ア 適切な収支構造及び収支バランス

<p>[取組内容]</p> <p>● 適切な収支構造及び収支バランス</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 優先順位を見極め、緊急度の高いもの、必要性の高いものから執行を検討し、提案した収支表に準じ、適切な収支管理を行います。</p>
--	--

イ 指定管理料のみに依存しない収入構造の検討

<p>[取組内容]</p> <p>● 指定管理料のみに依存しない収入確保の取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 有料入館者を増やすため、観光客、団体客を増やします</p> <p>□ ショップ売上目標：1,550,000 円</p>
---	--

ウ 経費削減及び効率的運営努力

<p>[取組内容]</p> <p>● 管理費の多くを占めている光熱水費を節約することで、コストの削減につなげます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ 電気・水道使用量 前年度比マイナス</p>
---	--

6 PDCAサイクルの確実な運用

ア 日報及び月間事業報告書の作成・管理について

<p>[取組内容]</p> <p>● 日報、月間事業報告書の作成と管理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 業務の基準に則り適切に対応します。</p>
---	--

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

<p>[取組内容]</p> <p>● 業務計画書、業務報告書の作成と管理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 業務の基準に則り適切に対応します。</p>
--	--

ウー1 業務評価（モニタリングの実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>● モニタリングの実施による業務評価</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 業務の基準に則り適切に対応します。</p>
---	--

ウー 2 業務評価（自己評価の実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●自己評価の実施による業務評価</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に則り適切に対応します。</p>
--------------------------------------	---

ウー 3 業務評価（第三者による評価の実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●第三者評価の実施による業務評価 ※該当年度のみ対象</p>	<p>[達成指標]</p> <p>平成 29 年度の第三者評価の実施に向け、事業の案内を市を通じてお知らせし、視察対応をします。</p>
---	--

7 その他について

ア 保険及び損害賠償の取り扱いについて

<p>[取組内容]</p> <p>●保険の加入と損害賠償への対応</p>	<p>[達成指標]</p> <p>対人 1 億円の保険金額の施設賠償等保険に加入します。</p>
--------------------------------------	--

イ 関係法令の順守

<p>[取組内容]</p> <p>●関係法令の順守</p>	<p>[達成指標]</p> <p>コンプライアンス事故ゼロの達成</p>
-------------------------------	--------------------------------------

ウ 市及び関係機関等との連絡調整

<p>[取組内容]</p> <p>●市及び関係機関等との連絡調整</p>	<p>[達成指標]</p> <p>モニタリングや、必要に応じた相互連絡により情報共有を行います。</p>
--------------------------------------	--

平成29年度 大佛次郎記念館 事業一覧

No.	実施時期	主催・共催・協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数 見込み(人)	実施回数
1	通年	主催	作品収集活用	-	所蔵品(既存の所蔵物の他、新たな寄贈物、購入物などを含む)の収集・管理。レファレンス等。	-	1
2	通年	主催	収蔵資料の保存・補修	-	旧蔵品等の大切な資料を後世に残すために、補修等を行います。	-	1
3	通年	主催	常設展(収蔵品展)	2階展示室	「大佛次郎の生涯と作品」にスポットを当てた収蔵品展を実施します。 定期的な展示替え実施	テーマ展示に含む	1
4	通年	主催	愛蔵品展示	記念室内及び記念室前展示コーナー	大佛次郎の交友関係に焦点をあて、関係する旧蔵資料等を展示します。	テーマ展示に含む	1
5	通年	主催	所蔵品データベース化	-	大佛次郎記念館ホームページ上に掲載する、所蔵品オープンデータの追加	-	1
6	3月-7月	主催	<大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> テーマ展示Ⅰ「大佛次郎のヨコハマ・スピリット」	2階ギャラリー	テーマ展示Ⅰ「大佛次郎のヨコハマ・スピリット」 ・大佛次郎のライフスタイル(スポーツマンであること、音楽・舞台芸術・絵画・写真への愛好、グルメ等)に焦点を当てることで、その生活美学や人物としての魅力を紹介します。 ・作品の舞台、また自らの生活の場でもあった「ヨコハマ」との関係性を紹介し、大佛が「ハマ」に寄せる愛情の具体像にせまります。	5,400	1
7	7月-11月	主催	<大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> テーマ展示Ⅱ「大佛次郎と501匹の猫」	2階ギャラリー	テーマ展示Ⅱ「大佛次郎と501匹の猫」 ・生涯500匹以上の猫を飼うなど、大佛次郎の作品や人生を語る上で欠かせない猫「優しい伴侶」に焦点をあてます。	5,400	1
8	11月-3月	主催	<大佛次郎生誕120年記念> テーマ展示Ⅲ「大佛次郎の戦後日本(仮)」	2階ギャラリー	テーマ展示Ⅲ 「大佛次郎の戦後日本(仮)」 ・主筆をつとめた若者にむけた雑誌「学生」「天馬」を軸に、人々との交流や大佛の活動を紹介します。(ex.東久邇内閣の内閣参与～ナショナルトラスト運動、「フランス山」や宅地開発についての横浜市への提言まで)	5,180	1
9	6月	主催	「おさらぎ選書」第25集の刊行	-	大佛次郎研究論文、資料紹介、記念館活動記録などをまとめた「おさらぎ選書」第25集を発行します。また、30年度の第26集発行に向け、編集、執筆及び執筆依頼を行います。	-	1
10	6月	主催	<大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 大佛次郎生誕120年記念講演会(1)	神奈川近代文学館	6月18日(日) 講師:鹿島茂(フランス文学) 神奈川近代文学館と共催実施	170	1
11	10月	主催	<大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 大佛次郎生誕120年記念講演会(2)	神奈川近代文学館	10月9日(月・祝) 講師:辻原登(作家、神奈川近代文学館館長) 神奈川近代文学館と共催実施	170	1
12	5月	主催	<大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 横浜文学散歩 ～中区編～	中区界隈	大佛次郎生誕120年記念で、生誕の地をはじめ、中区を重点的に回遊します。	20	1
13	4月	主催	<大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 大佛次郎賞受賞記念講演会(1)	横浜市開港記念会館講堂	朝日新聞主催の大佛次郎賞受賞作家による講演会。朝日新聞社、中区役所共催 講演者:浅田次郎 受賞作:「帰郷」	240	1
14	3月	主催	<大佛次郎生誕120年記念> 大佛次郎賞受賞記念講演会(2)	横浜市開港記念会館講堂	朝日新聞主催の大佛次郎賞受賞作家による講演会。朝日新聞社共催	240	1
15	5月-11月	共催	大佛次郎研究会 公開発表会	神奈川近代文学館	大佛次郎研究会に対し、年2回開催される研究会公開発表会を共催し、活動を支援します。	300	2
16	4月、12月	主催	和室公開	和室	年2回、桜(3/24~4/9)と紅葉(11下旬~12/月上旬)のシーズンに和室を公開。窓から眺める景色を来館者に楽しんでいただけます。 パネルにより収蔵品や大佛の俳句等を紹介	800	2
17	4月、10月	協力等	大佛茶亭公開	大佛茶亭(鎌倉)	鎌倉風致保存会主催の鎌倉市雪ノ下にある「大佛茶亭」の公開に合わせて、書籍、グッズ販売等を行います。	-	2
18	11月	主催	小学生ミニ・ビブリオバトル	2階サロン	小学4~6年生を対象にした、本の紹介バトル。本を通じた子ども達同士の交流、地域との交流を目指す。本好きだった大佛次郎のスピリットも伝えます。	40	1
19	8月	主催	夏休み子どもアドベンチャー	館内	感想画展、館内クイズラリーなど、小中学生無料化に伴い、親子での来館を促す企画	40	1
20	8月	協力等	ミュージアム・ミッション2017	館内	神奈川県博物館協会主催のミュージアム連携事業に参加。子どもの来館を促します。	テーマ展示に含む	1
21	2月-3月	主催	大佛次郎×ねこ写真展2018	会議室、和室、閲覧室等	大佛次郎の愛した猫を切り口にした写真展。公募作品も多数展示。	3,000	1
22	通年	主催	大佛次郎に関する普及事業	-	大佛次郎に関する普及に努めます。	-	1
23	9月	主催	<大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 大佛次郎記念館のオープンデー	全館	和英二か国語でのギャラリートーク、和室での市内中学高等学校茶道部生徒さんによる茶道体験、「着物ハッスルドレス」(鹿鳴館風ドレス)の展示など、外国のお客様はじめ、気軽に入場無料でお入りいただけるオープンデー。	-	1
24	10月、2月	共催	山手西洋館連携事業 ①山手西洋館ハロウィンウォーク ②横浜山手芸術祭「西洋館ユースギャラリー」	①記念館敷地内 ②会議室	10月末の山手西洋館ハロウィンウォークに館として参加し、賑わいを創出します。2月には横浜山手芸術祭に協力参加し、小学生の作品展示を実施します。	3,000	2

No.	実施時期	主催・共催・協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数 見込み(人)	実施回数
25	3月-6月	共催	大佛次郎生誕120年記念連携展示	横浜美術館 カフェ小倉山	大佛次郎夫妻のファッションに関するパネル展示。当財団が運営する横浜美術館の企画展「ファッションとアート 麗しき東西交流」と連携。	-	1
26	5月	共催	大佛次郎生誕120年記念連携公演 高橋長英 朗読公演	岩間市民プラザ	当財団が指定管理者共同事業体に参加している他施設との連携事業。大佛次郎作品の朗読公演。	194	2
27	通年	主催	ホームページの充実・運用	-	施設についての魅力を伝えるツールとしてさらに充実させていきます。	-	1
28	通年	主催	「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」継承事業	全館	館内をより楽しく鑑賞できる補助ツールとしてのワークシートを活用します。	-	1
29	通年	協力等	アニメ、ドラマ、映画等と連携したスタンプラリー	1階	各種コンテンツと連携した観光促進事業に協力し、新しい層の来館を促進します。	-	-
30	10月	主催	<大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 生誕120年記念日	全館	横浜中区生まれの大佛次郎、120歳のバースデーを、入場無料デーとし、来館者とともにお祝いします。。	100	1

平成29年度 「大佛次郎記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	50,692,000		50,692,000		50,692,000	横浜市より
利用料金収入	700,000		700,000		700,000	和室会議室利用
自主事業収入	2,746,000		2,746,000		2,746,000	観覧料、事業収入
雑入	2,720,000	0	2,720,000	0	2,720,000	
印刷代	100,000		100,000		100,000	その他事業収入
ティールーム設備料	1,070,000		1,070,000		1,070,000	ティールーム設備料
その他(ショップ収入)	1,550,000		1,550,000		1,550,000	ショップ売上
収入合計	56,858,000	0	56,858,000	0	56,858,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	37,149,000	0	37,149,000	0	37,149,000	
給与・賃金	30,659,000		30,659,000		30,659,000	
社会保険料	4,026,000		4,026,000		4,026,000	
通勤手当	1,072,000		1,072,000		1,072,000	
健康診断費	56,000		56,000		56,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	1,336,000		1,336,000		1,336,000	
事務費	3,369,000	0	3,369,000	0	3,369,000	
旅費	90,000		90,000		90,000	
消耗品費	800,000		800,000		800,000	
会議賄い費	23,000		23,000		23,000	
印刷製本費	150,000		150,000		150,000	広告宣伝費含む
通信費	380,000		380,000		380,000	
使用料及び賃借料	1,159,000	0	1,159,000	0	1,159,000	
横浜市への支払分	1,009,000		1,009,000		1,009,000	
その他	150,000		150,000		150,000	
備品購入費	150,000		150,000		150,000	
図書購入費	150,000		150,000		150,000	
施設賠償責任保険	300,000		300,000		300,000	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	80,000		80,000		80,000	
リース料	0		0		0	
手数料	50,000		50,000		50,000	
地域協力費	37,000		37,000		37,000	
事業費	3,670,000	0	3,670,000	0	3,670,000	
自主事業費	3,670,000		3,670,000		3,670,000	
管理費	7,254,000	0	7,254,000	0	7,254,000	
光熱水費	1,400,000	0	1,400,000	0	1,400,000	
電気料金	1,220,000		1,220,000		1,220,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	180,000		180,000		180,000	
清掃費	2,100,000		2,100,000		2,100,000	
修繕費	1,154,000		1,154,000		1,154,000	
機械警備費	750,000		750,000		750,000	
設備保全費	1,850,000	0	1,850,000	0	1,850,000	
空調衛生設備保守	420,000		420,000		420,000	
消防設備保守	300,000		300,000		300,000	
電気設備保守	150,000		150,000		150,000	
害虫駆除清掃保守	300,000		300,000		300,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	680,000		680,000		680,000	
共益費			0	0	0	
公租公課	2,550,000	0	2,550,000	0	2,550,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,550,000		2,550,000		2,550,000	
印紙税	0		0		0	
その他()	0		0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	2,866,000	0	2,866,000	0	2,866,000	
本部分	2,866,000		2,866,000		2,866,000	
当該施設分	0		0	0	0	
支出合計	56,858,000	0	56,858,000	0	56,858,000	
差引	0	0	0	0	0	